

サッカー部 通信

総体都大会2回戦

平成30年5月23日

善戦も力及ばず... 金星ならず

互角の前半

5月20日に高校総体東京都予選2回戦 vs 東久留米総合高校が行われました。1回戦を勝ち抜き、2回戦からシード校が出てきますが、言わずと知れた都立の雄、久留総が2回戦の相手です。普段から仲良くさせていただいており、定期的にTRMをしているため、手の内を知っている相手です。

前半から高島は、積極的にボールを奪いに行きます。相手DFにもアプローチをかけますが、徹底して背後にボールを蹴られ陣地を挽回されます。すると、相手CKからこぼれ球を押し込まれて先に失点をしてしまいます。しかし、ここから高島は、怒濤の攻めを見せます。成嶋⑨のボレーや大熊⑥のドリブルからチャンスを作ります。そこで得たCKを丹治⑦が押し込み同点とします。その後は、一進一退の攻防を繰り返して、前半が終了します。

高校サッカードットコム様に記事にいただいています。

<https://koko-soccer.com/report/1067/861-2018inhity05206>

気持ちのぶつかり合った後半

前半を1-1で折り返し、勝負は後半へと移ります。ここからは、勝ちたいという気持ちの勝負になります。高島は、守る時間は多いもののゴール前では体を投げ出して守り、ボールを奪えば積極的に相手ゴール前まで侵入していきます。後半20分過ぎから、高島の選手が足を攣りだして選手交代を余義なくされます。そこを見逃さないのが、強豪校。数々のセーブを見せていた橋本①も孤軍奮闘しますが、68分、76分に失点をしてしまいます。しかし、途中出場の川倉⑮が相手DFの背後に抜け出し、冷静に流し込み2-3とします。その後もチャンスを作り出しますが、決めきれず2-3で敗戦となりました。

ここ2年間、公式戦の場で数多くの強豪校と試合をしましたが、一番奮闘した試合でした。ただ、勝ちきれない。その原因は何なのか。普段の練習態度、学校生活、サッカーへの思い、様々な要因があると思います。これからの選手の奮起に期待します！



写真館

